

施政概要

(案)

令和4年第2回（6月）市議会定例会

四街道市

予定事項等が含まれていることや、6月1日時点の内容であることから、
今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和4年第2回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、ウクライナへの支援について申し上げます。

ウクライナ及びその周辺地域で緊急事態に置かれている皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早く平和で安全な日常が取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

ウクライナにおいては、ロシア軍の侵攻後、同軍による激しい攻撃を受け、今もなお、多くのウクライナの人々が国外への避難を強いられています。このような状況を受け、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国等における救援活動を支援するため、3月15日から市役所総合案内カウンター、社会福祉課及び社会福祉協議会の計3か所に募金箱を設置したほか、5月17日からはふるさと寄附においても寄附金の募集を開始しました。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、市民の皆様には感染拡大防止に向け、ご協力いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスワクチン接種については、3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上、及び基礎疾患等のある18歳以上60歳未満の市民を対象とした4回目の接種を開始しています。また、ワクチン接種に係る周知については、チラシの全戸配布や広報、SNS等を通じて、予約方法やワクチンの正しい情報提供を行うとともに、引き続き接種が円滑に実施できるよう、医療機関等と連携しながら進めています。

国が3年度に予算措置し、4年度に繰り越された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用については、新型コロナウイルスの感染拡大防

止、及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等に向けた独自支援策として、本定例会に事業費等に係る補正予算案を提出させていただいています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、所得制限により国の臨時特別給付金を受給できなかった子育て世帯に対し、市独自の支援策として、対象児童1人当たり10万円を5月25日から順次、支給しています。

続きまして、本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組について申し上げます。

私の市長就任後、社会状況の変化に対応し、持続可能な行政基盤づくりを進めるため、市政全般にわたる事業予算について、5月16日から総点検に着手しています。事業内容が現状の課題に十分応えられているか、事業執行に工夫できる点はないか等を確認し、行政運営の効率化に向けた環境づくりにつなげてまいります。

6年度を開始年度とする新たな「四街道市総合計画」の策定については、庁内横断的な組織である総合計画推進本部において、基本的な考え方等をまとめた策定方針案を作成し、総合計画審議会での意見を踏まえ、策定方針を定めました。今後、この策定方針に基づき、市民参加手続きをはじめとする策定作業を進めてまいります。

次期ごみ処理施設については、引き続き広域処理を含めたあらゆる可能性の洗い出し作業を行うとともに、施設用地における汚染された土壌搬入の経緯について、私をトップとする庁内における調査体制を整え、関係職員の聴取を開始しています。

市庁舎整備については、3月に実施設計が完了したことから、これに基づく庁舎整備工事の契約手続を進めています。また、整備の概要について、市役所正面玄関に新庁舎展示コーナーを設けるとともに、市公式ユーチューブチャンネルにおいて、新庁舎内部等のイメージ動画を配信しています。

6年度を開始年度とする新たな「四街道市教育振興基本計画」の策定については、市民等へのアンケート調査を実施するなど、策定作業を進めています。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の主要施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」
の分野でございますが、高齢者支援については、千代田中学校区に新たに開設する地域包括支援センターの運営に向け、委託する運営事業者の選定を進めています。

また、健康なまちづくりや介護予防の効果的かつ効率的な推進を図るため、全国の市町村と取組を進めている一般社団法人日本老年学的評価研究機構（JAGES）と連携協定を締結するための準備を進めています。

障がい者支援については、4月1日に開設した障害者基幹相談支援センターにおいて、障がい者が地域で安心して暮らすことができるよう、相談支援事業所等と連携した支援を実施しています。

健康づくりについては、出産後のケアが必要な母子に対し、助産師による自宅への訪問支援に加え、産婦人科などにおいて、宿泊や滞在しながら母親や赤ちゃんの心身のケア、育児のサポートを受けられる新たな支援を6月1日から開始しています。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」
の分野でございますが、防災・減災については、「四街道市地域防災計画」の改訂に向け、市民参加条例に基づくワークショップを6月2日から開催しています。また、5年度の改訂に向け、地震による各種被害の予測や河川の洪水等による危険度評価などを行う防災アセスメント調査を実施しています。

消防・救急については、増加基調にある救急需要に対応するため、千代田分署に配置されている救急車の更新整備の契約に向けた諸手続を進めています。また、災害現場活動を円滑に行うための無線機の更新整備に係る契約手続を行っています。

消防団については、第2分団に配置されている消防ポンプ自動車の更新整備の契約に向けた諸手続を進めているほか、出動報酬の創設、年額報酬の引き上げ等の処遇改善を行うなど、消防団員の確保に努めています。

基本目標3「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」
の分野でございますが、子ども教育については、子どもたちが安心して学習できる環境を整えるため、引き続き八木原小学校校舎大規模改造工事を進めるとともに、四和小学校のトイレの一部洋式化・乾式化に向け、工事を発注しました。

文化・スポーツについては、地域の人々が守り伝えてきたふるさと四街道の

歴史資料を後世に継承していくため、市制施行40周年記念誌として、戦前、戦後を中心に四街道の発展を紹介する写真集「写真に見る四街道の歴史」を3月に発行しました。

基本目標4「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」の分野でございますが、住環境については、都市公園事業において、子どもたちにとって楽しい遊び場の確保、安全・安心な公園施設の維持管理を行っていくため、鷹の台公園複合遊具の更新工事に係る発注に向け、準備を進めています。

生活基盤については、排水対策として、四街道鹿渡線の道路排水施設整備に係る発注準備を進めています。

また、浸水対策事業として、四街道雨水幹線の溢水解消に向け、萱橋地先に整備する調整池等の基本設計に係る委託業務を発注しました。

水道事業では、安定した水の供給と安全性を確保するため、第3浄水場の受変電設備に係る更新工事の発注準備を進めるとともに、旭ヶ丘地先ほか6か所の配水改善工事を行うなど、市民生活を支える重要なライフラインの維持管理に努めています。

基本目標5「にぎわいと活力にあふれるまち」の分野でございますが、道路・交通については、安全・安心な交通環境を整備するため、四街道鹿渡線ほか3路線の舗装修繕工事に係る発注準備を進めています。また、子どもたちの通学路の安全性を確保するため、内黒田栗山線の通学路交通安全対策工事に係る発注に向け、準備を行っています。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、特定調停が成立したことから、再建計画に基づき、認可権者である千葉県と7年度の完成を目標とする事業計画の変更手続を行っています。

産業については、市民と農業者との積極的な交流と地産地消の推進を図るため、子育て世代を対象とした全8回の「市民親子農業収穫体験講座」を4月から開催し、20組59名の親子にご参加いただいています。

基本目標6「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、市民団体等による地域づくりや課題解決を図る「みんなで地域づくり事業提案制度(コラボ四街道)」で採択された3事業に対し、各団体への補助金交付の手続を進めています。

シティセールスについては、プレスリリースを活用して市の認知度向上を図るなど、積極的な情報発信に努めています。また、市のシティセールスロゴマ

ークで採用したキャッチコピーの表彰式を4月22日に執り行うとともに、提案者の想いを乗せた新たなロゴマークを活用しながら、市のPRに努めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、四街道市民の命と暮らしを守り抜くとともに、四街道市を発展させるため、全力を傾注してまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年6月6日

四街道市長 鈴木 陽介